

お知らせ

記者発表資料

令和元年 8月 8日

配 布 日 時 | 14:00

■同時発表先:合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成30年7月豪雨に係る広島県内の復旧・復興工事を加速化

~施工確保対策として「復興歩掛・係数」を新たに導入~

平成30年7月豪雨に係る復旧・復興工事並びに防災・減災、国土強靱化のための3カ 年緊急対策工事を進めているところです。

工事の実施における広島県内での状況を踏まえ、円滑な施工の確保に万全を期すため、予定価格の適切な設定に必要となる「復興歩掛」や「復興係数」の導入することを決定しました。

中国地方整備局では、平成30年7月豪雨の発生後、公共工事の円滑な施工確保対策及び中国地方復旧等事業円滑化官民ネートワーク会議などの関係者間の定期的な情報共有を実施してきました。

この度、広島県内における入札及び工事の現状を踏まえ、新たな対策 (「復興歩掛・係数」)を講じることを決定しましたので、お知らせいたします。 <主な対策の内容>

■「復興係数」・「復興歩掛」の導入

復興係数:共通仮設費を1.1倍、現場管理費を1.1倍に補正 復興歩掛:土工の日当たり標準作業量を20%低下する補正を設定 (令和元年8月19日以降に契約する広島県内工事に適用)

※本発表は、以下の国土交通省記者発表「平成30年7月豪雨からの復旧・復興工事を加速化」を 受け行ったものです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000610.html

<問い合わせ先>

中国地方整備局 082-221-9231 (代表): (平日・昼間)

【担当】

(総括) 企画部技術管理課長 山﨑 彰 (内線3311)

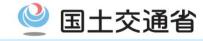
(機場·縣) "技術管理課 課長補佐 北木 清治 (内線 3 3 1 2)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 岩下 恭久 (内線2117)

企画部 環境調整官 坂本 泰正 (内線3114)

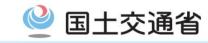
平成30年7月豪雨における復興係数・復興歩掛



復興係数•復興歩掛

	復興係数	復興歩掛	
適用時期	令和元年8月19日以降に契約する工事	令和元年8月19日以降に契約する工事	
対象工種	全ての土木工事	土工	
対象地域	広島県内	広島県内	
補正率	共通仮設費: <u>1.1</u> 現場管理費: <u>1.1</u>	土工の作業効率を20%低減	

(参考)大規模災害における復興係数・復興歩掛



		東日本大震災	熊本地震	平成30年7月豪雨
発災日		H23.3.11	H28.4.14,16	H30.7.6-7
	適用時期	H26.2.3	H29.2.1 (H29.11.1一部引き上げ)	R1.8.19
	対象工種	全ての土木工事	全ての土木工事	全ての土木工事
復興係数	対象地域	被災3県	熊本県内	広島県内
間接工事費を補正 	補正率	共通仮設費 : <u>1.5</u>	共通仮設費 : <u>1.4</u> <u>(阿蘇・上益城)</u> <u>1.1</u> (その他県内)	共通仮設費 : <u>1.1</u>
		現場管理費 : <u>1.2</u>	現場管理費: <u>1.1</u>	現場管理費∶ <u>1.1</u>
	適用時期	H25.10.1	H29.2.1	R1.8.19
	対象工種	土工、コンクリートエ	土工	土工
復興歩掛 直接工事費を補正	対象地域	被災3県	熊本県内	広島県内
	補正率	土工: 作業効率 <u>20%低減</u> コンクリートエ: 作業効率 <u>10%低減</u>	土工: 作業効率 <u>20%低減</u>	土工: 作業効率 <u>20%低減</u>

(参考)公共土木工事の積算体系

